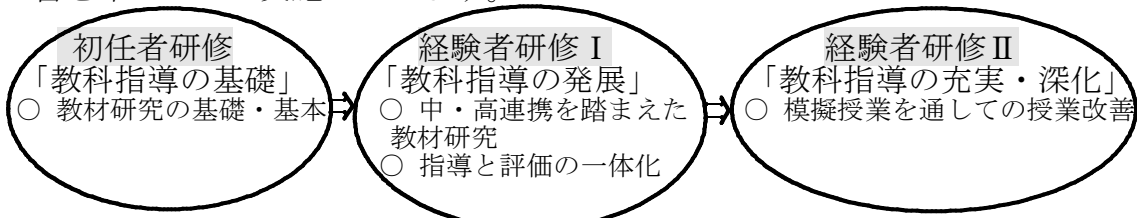


研修から見える英語科の授業改善の視点

1 はじめに

英語科の基本研修は、各研修に応じて以下のようなねらいを持ち、授業改善を中心として実施しています。



今回は、教育センターにおける中学校経験者研修Ⅱを通して、研修から見える英語科の授業改善について考えてみます。

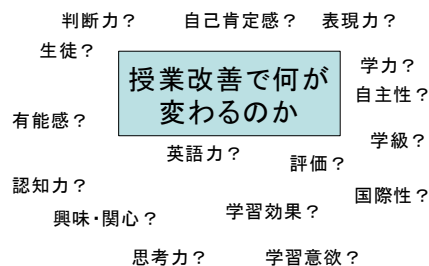
2 研修の実際

経験者研修Ⅱの教科指導においては、先生方が授業改善における自己課題や解決に向けた具体策について、協議や演習等を通して視点を明確にし、各学校で実践していただけるよう講座を組み立てています。今年度は、4班編成で模擬授業や協議を中心に行いました。その際の主な内容を紹介します。

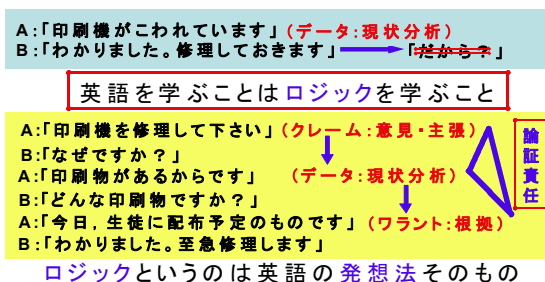
研修講座の内容

	講座の種類	講座の主な内容	担当（講師）
1	協議	「教科指導上抱える問題点」 ～グループ協議による問題解決～ ※感想記録を参照	担当指導主事 教科相談員
2	講義	「アクションリサーチと授業改善」 ～講師による講義及び演習を実施～ ○アクションリサーチの定義と手法 ○アクションリサーチ具体例 ○実際のリサーチをデザイン（演習）	松山大学大学院 教授 佐野 正之氏
3	講義及び協議	「評価からみた授業の再点検」 ～指導主事による講義とグループ協議～ ○指導と評価の一体化 ○テスト作成上の留意点 ※感想記録を参照	担当指導主事
4	発表及び協議	「模擬授業」 ～グループで作成した指導案に基づく～ ○代表者によるデモンストレーション 展開部の流し方を中心としたもの	担当指導主事 教科相談員
5	演習	「これからの英語教育と授業改善の視点」 ～演習を通しての気づきを期待して～ ○4技能に即した演習 ○授業に生かせる具体的実践例の紹介 ※感想記録を参照	担当指導主事

【上記の5「演習」からの抜粋資料】



英語の思考様式



【研修者の感想記録】

1) 「教科指導上抱える問題点」に関して

- ・ 他校の先生方と問題点について協議することができ、とても良かった。表現力を身に付けさせるためには、大量にインプットした言語材料を意図的にアウトプットする場を作る必要があると実感した。
- ・ 各校の実態はそれぞれ異なるが、教科指導上抱える問題には共通点が多く、充実した意見交換ができた。新たな視点も見えてきた。
- ・ 抱える問題点を班で話し合うことで、改善策までには行かなくとも、方向性が見えてきた。他校の実践や失敗例を聞くことも大いに参考になった。

3) 「評価から見た授業の再点検」に関して

- ・ 指導と評価の一体化については、日ごろから意識してきたつもりだが、定期テストの作成については、自分なりに反省をしながら聞いた。今後、「どんな力を測りたいのか」をきちんと焦点化して問題作成を行いたい。
- ・ 評価問題の改善について、自分が作成してきたテストの問題点が明らかになり、具体的な改善のポイントも分かったような気がする。
- ・ 絶対評価について、頭では分かっていたようでも、説明するとなると難しい。認識不足を自覚した。ただ、今回再確認する機会が持てたので良かった。

5) 「これからの英語教育と授業改善の視点」に関して

- ・ 授業の流れに沿って、具体的な提案がなされたため、最近マンネリ化してきた自分の授業を見直す機会となった。フラッシュカードの使い方から始まり、板書の在り方、教材研究の深め方、等々よく見直してみると検討すべきことがたくさんあり、明日以降、実践の中で考えていきたい。
- ・ 演習を通して授業改善についての話があったので、自分を振り返りながら参加した。特に、明日からの授業で教材研究をより深めていく大切さを感じた。

3 授業改善の視点

- (1) 模擬授業や指導案等から気付くことですが、中学校の授業は十分な練習を行わないまま、表現活動に急ぐ傾向にあります。授業の流れの各段階ごとに確保された時間や言語活動の内容からこの傾向がうかがえます。基礎・基本を大切にするという意味からもオーラルイントロダクションの後には必ず訓練的な要素を含む活動を取り入れるなど、着実な定着を目指した言語活動を心がけてください。【基礎・基本の着実な定着】
- (2) 上記(1)と関連して、聞く・話す活動の後には、必ず読む力や書く力を伸ばすための活動を取り入れるなど、4技能のバランスの取れた授業構成を計画したいものです。(単元ごとや学期ごとの単位でも結構です。)【4技能のバランス】
- (3) 授業を実践する前の教材研究の重要性について再考したいものです。実態に合わせた教材の準備、目的やねらいを考えた上での言語活動の位置付け、4技能のバランス等、事前に準備すべきことをしっかりと準備し、着実に日々の実践を積み重ねてください。このような実践こそがまさに授業改善であり、このような努力を続けることで、最終的に生徒の「確かな学力」の向上につながります。【より深い教材研究】

4 おわりに

今回、中学校経験者研修Ⅱの感想記録を取り上げながら授業改善の必要性について振り返ってみましたが、これらを参考に、今後ともよりよい授業づくりを目指してほしいと考えています。